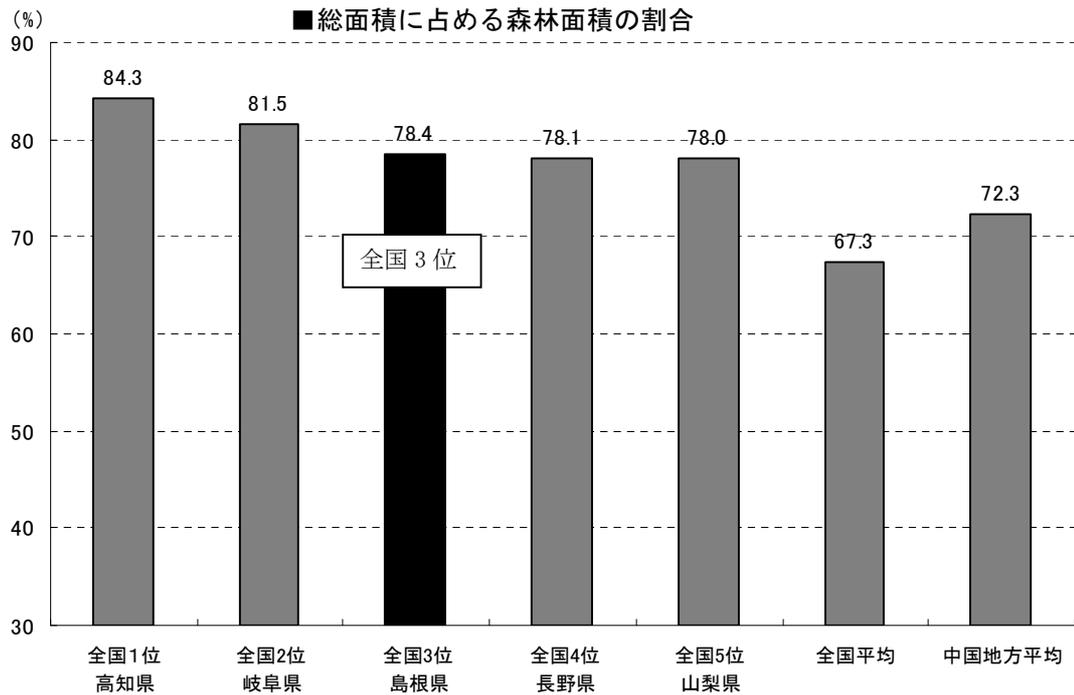


## 資料6 島根県の地域特性

温室効果ガスの排出量の削減に向けて、これまでの状況を振り返り、島根県らしさを活かしながら効果的な施策を立案するためには、島根県の現在の地域特性を踏まえておく必要があります。自然的、社会的条件等の地域特性のうち、特徴的なものについては以下のとおりです。

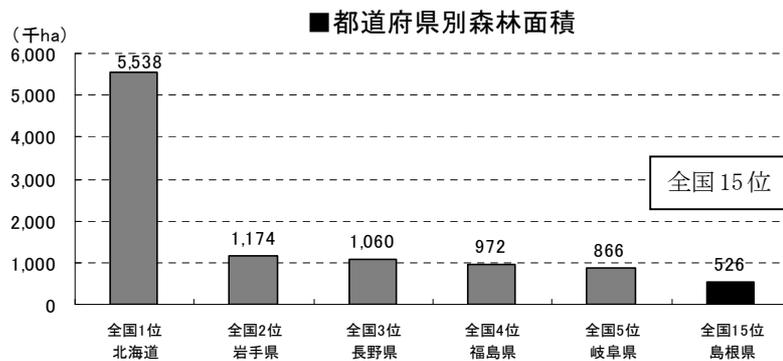
### 6-1. 森林

県土面積のうち、森林面積が78.4%を占めています。この総面積に占める森林面積の割合は、高知県、岐阜県に次いで全国第3位です。



出典：林野庁「森林資源の現況（平成19年）」

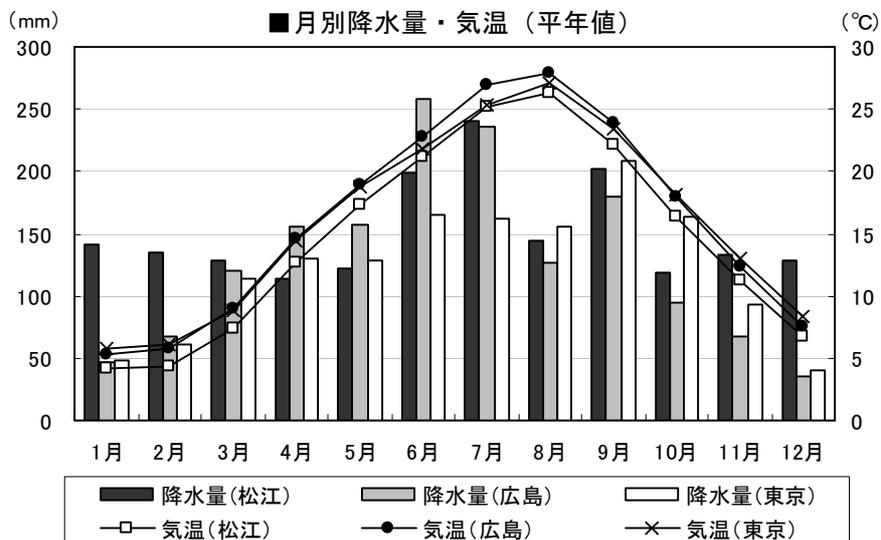
県土の面積に占める森林面積の割合は高い比率を占めていますが、森林面積の広さでは全国第15位となっています。



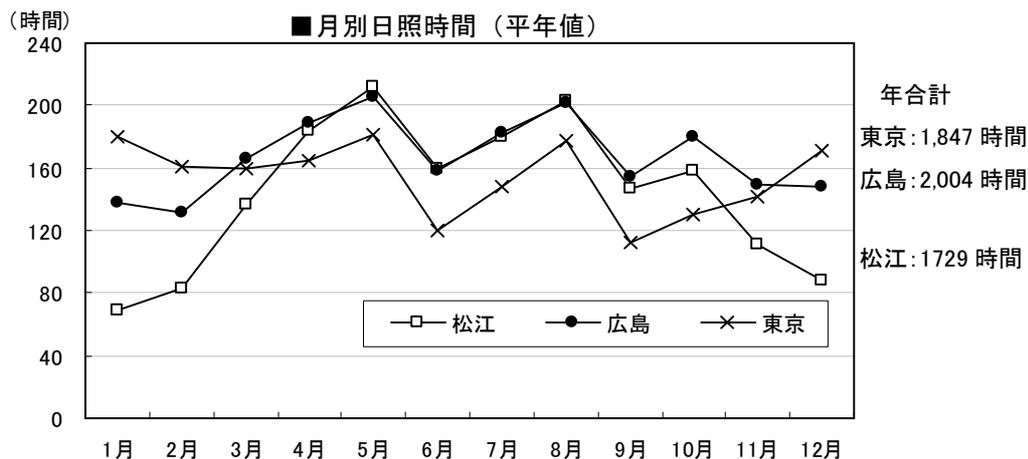
出典：林野庁「森林資源の現況（平成19年）」

## 6-2. 気象・地勢

島根県は、夏は晴天が多く、冬に雪や雨が多くなる特徴があります。  
また、風は山陽側に比べ、強いという特徴もあります。

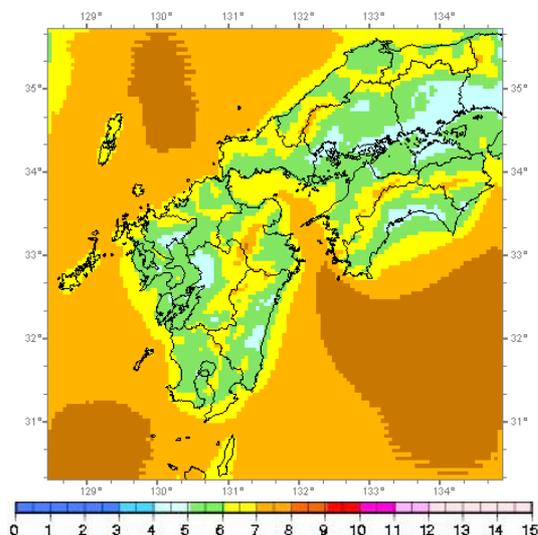


出典：気象庁統計情報データベース



出典：気象庁統計情報データベース

### ■ 局所風速（地上高 50m 地点での観測結果）



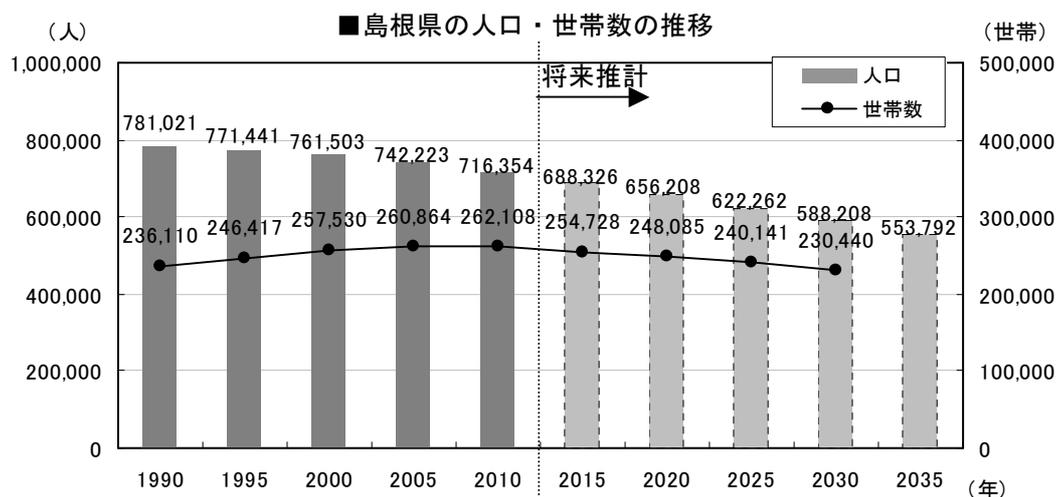
出典：NEDO「局所風況マップ」

## 6-3. 人口

### (1) 人口・世帯数

人口は2010年現在で716,354人、世帯数は262,108世帯となっています（2010年国勢調査速報値）。

これまでの推移をみると、人口は減少傾向にある一方、世帯数は増加傾向にあります。将来予測をみると、人口、世帯数ともに減少すると予測されています。

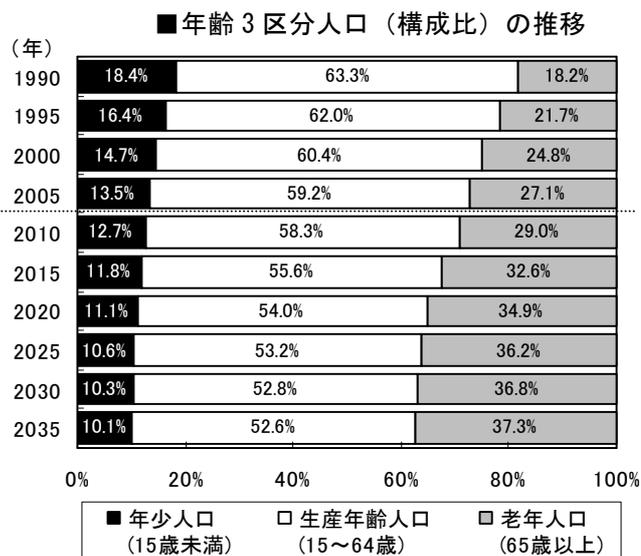
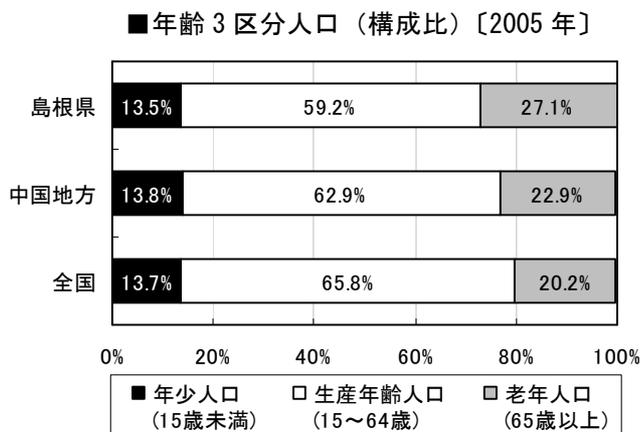


出典：国立社会保障・人口問題研究所、日本の都道府県別将来推計人口  
2005年までは国勢調査、2010年は国勢調査速報値、2015年以降は推計値  
(世帯数の推計は2030年まで)

### (2) 年齢別人口

年齢別人口の構成比をみると、2005年現在で年少人口（15歳未満）が13.5%、生産年齢人口（15～64歳）が59.2%、老年人口（65歳以上）が27.1%となっており、全国と比較すると、老年人口の割合が全国1位となっています。

これまでの推移をみると、老年人口の割合が増加し、年少人口と生産年齢人口の割合が減少しています。将来予測をみると、老年人口の割合がさらに増加すると予測されています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」  
2005年までは国勢調査、2010年以降は推計値（世帯数の推計は2030年まで）

## 6-4. 産業

### (1) 就業者数

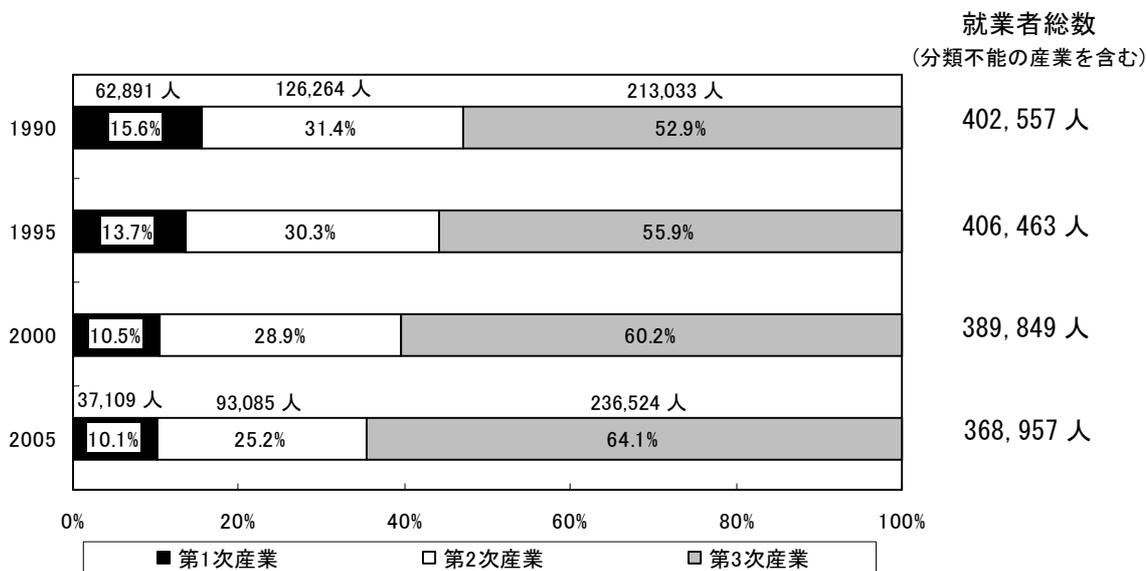
就業者数は 2005 年現在で 368,957 人となっています。

これまでの推移をみると、産業部門に区分される第 1 次産業と第 2 次産業の就業者数は減少が目立ちます。一方、業務部門に区分される第 3 次産業の就業者数は増加傾向にあります。

産業分類別就業者割合をみると、第 3 次産業の「サービス業」が最も多く、次いで第 3 次産業の「卸売・小売業」、第 2 次産業の「製造業」の順となっています。

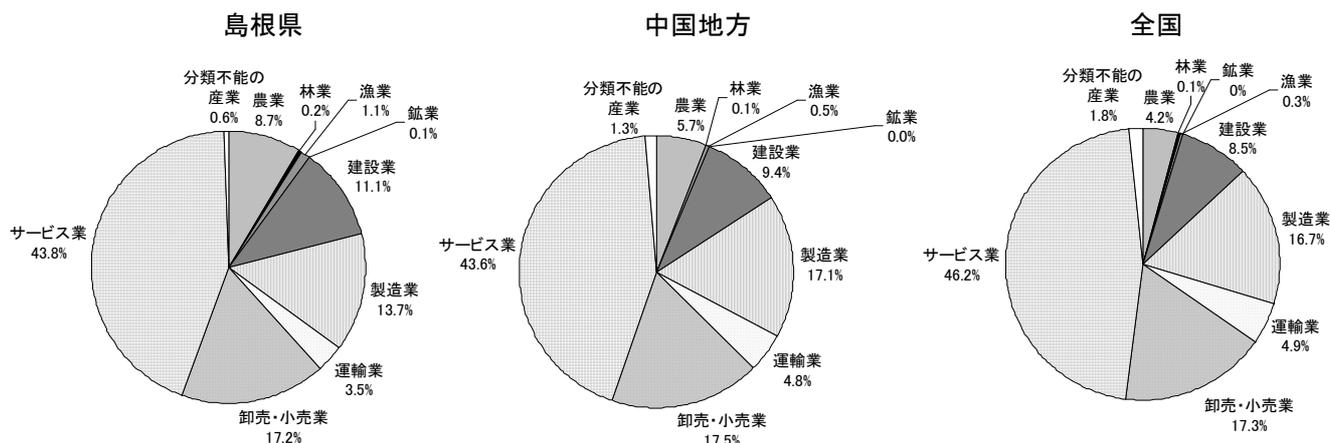
全国と比較すると、「農業」、「建設業」の割合が高く、「製造業」の割合が低くなっています。

■ 産業分類別就業者数・割合の推移



出典：総務省 国勢調査

■ 産業分類別就業者割合の比較(2005年)



出典：総務省 国勢調査

## (2) 総生産額

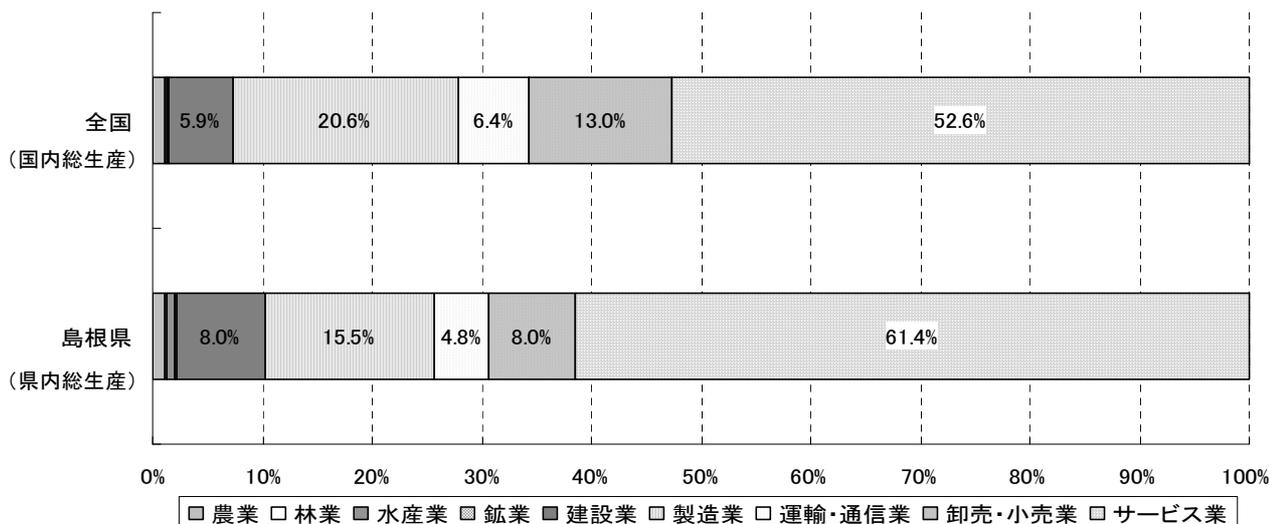
総生産額は2007年度現在で2兆5,823万円となっています。

内訳としては、「サービス業」の割合が61.4%と最も多く、次いで「製造業」が15.5%となっています。全国と比較すると、「建設業」及び「サービス業」の割合が高くなっています。

これまでの推移をみると、2000年度までは総生産額が増加傾向にありましたが、それ以降はやや減少しています。

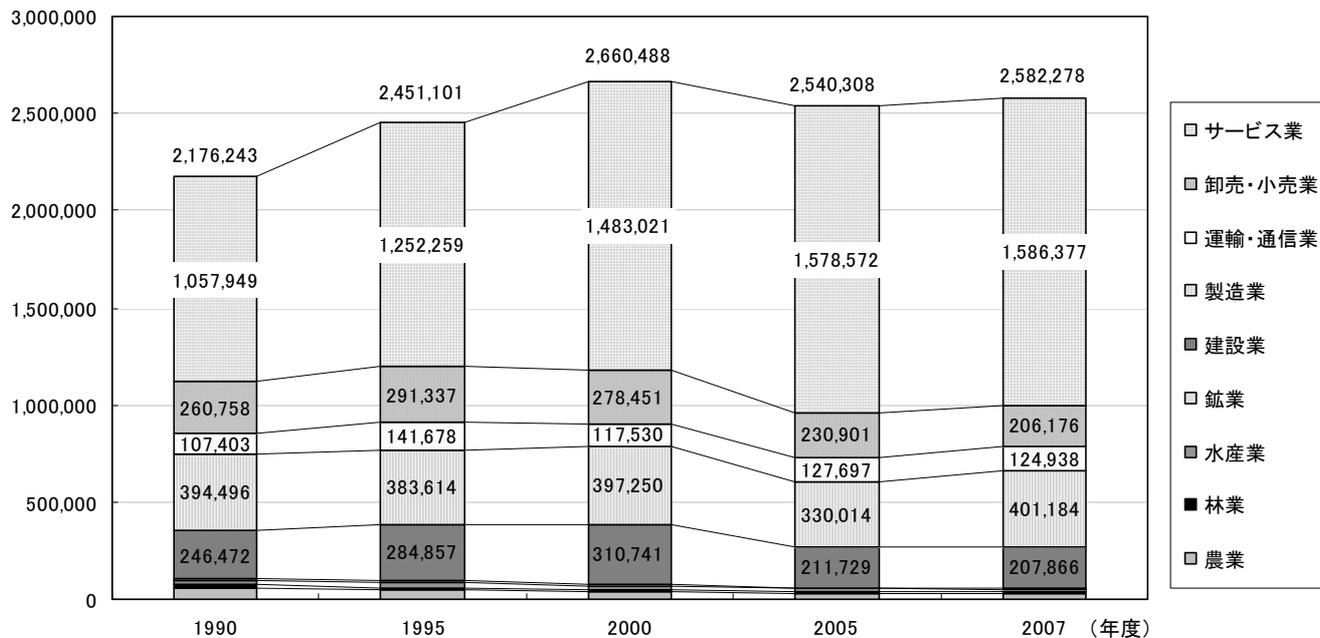
産業別にみると、「サービス業」「製造業」が増加傾向にある一方で、「卸売・小売業」「建設業」は減少傾向にあります。

■2007年の産業分類別総生産額の構成比



(百万円)

■産業分類別総生産額の推移



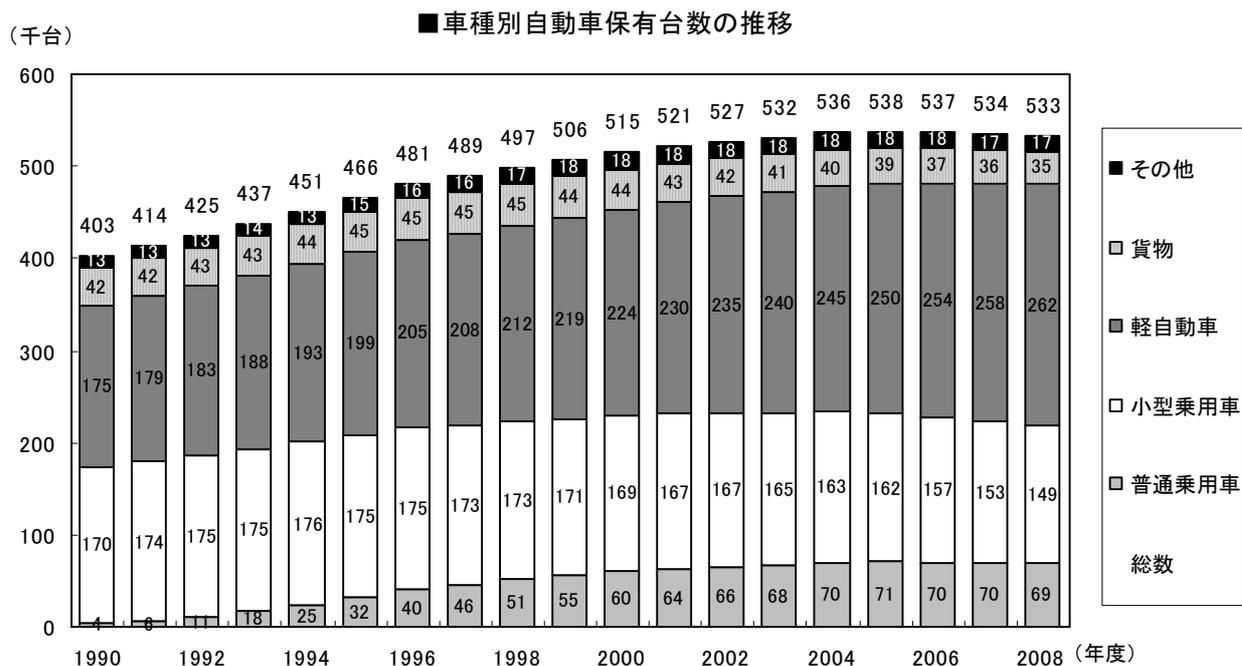
出典：内閣府「平成20年度 県民経済計算」

## 6-5. 自動車

自動車保有台数は2008年現在53万3千台となっています。2006年まで増加していましたが、以後はやや減少しています。

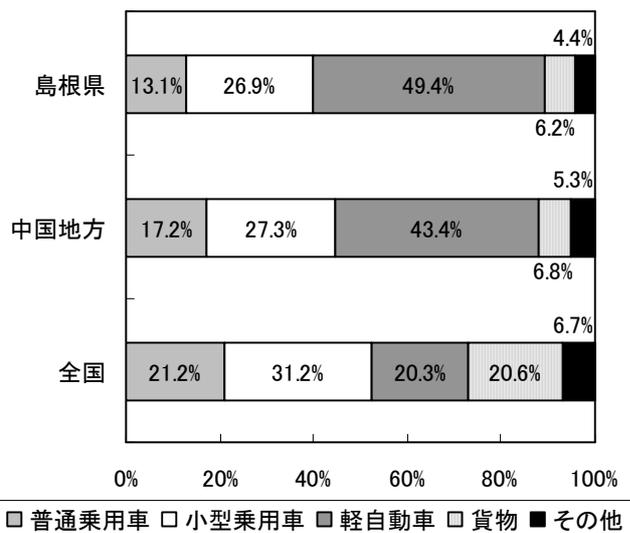
車種別に見ると、軽自動車の割合が49.4%と最も多く、次いで小型乗用車が26.9%となっています。

全国と比較すると、世帯あたりの自動車保有台数が多く、また「軽自動車」の保有台数の割合が高い傾向にあります。

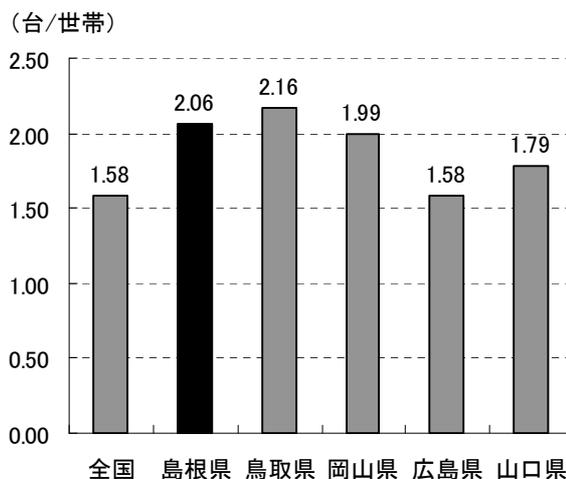


出典：島根県統計書

■ 自動車保有台数の車種別割合 [2008年]



■ 世帯あたり自動車保有台数 [2005年]



出典：国勢調査結果、島根県統計書  
(財)自動車検査登録情報協会資料

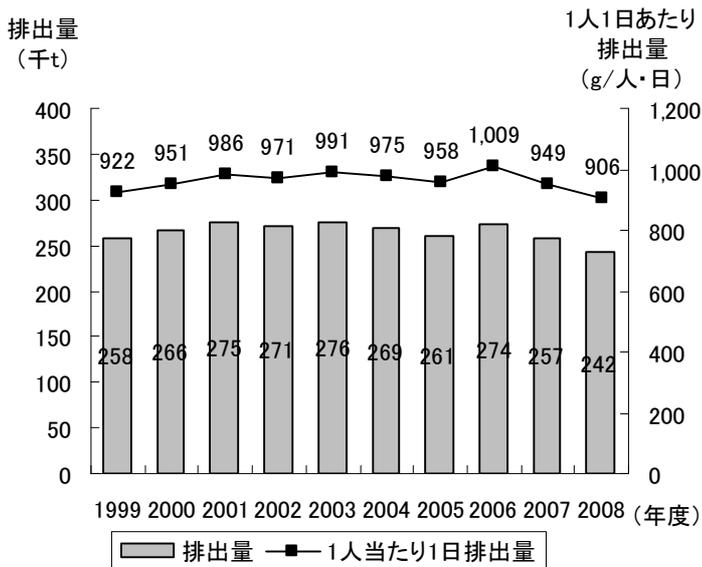
## 6-6. 廃棄物

### (1) 一般廃棄物

一般廃棄物の排出量は2008年現在242千tとなっています。2006年以後はやや減少しています。また、1人が1日に排出する廃棄物の量も同様に、減少しています。

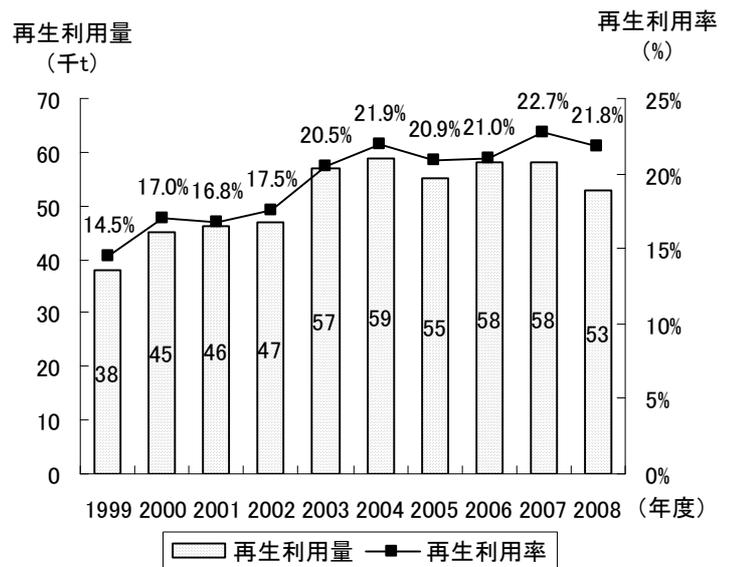
一方で、一般廃棄物の再生利用量については、1999年と比較すると増加していますが、近年微減しています。

■一般廃棄物総排出量・1人1日あたりの排出量の推移



出典：第2期しまね循環型社会推進計画

■一般廃棄物再生利用量・再生利用率の推移



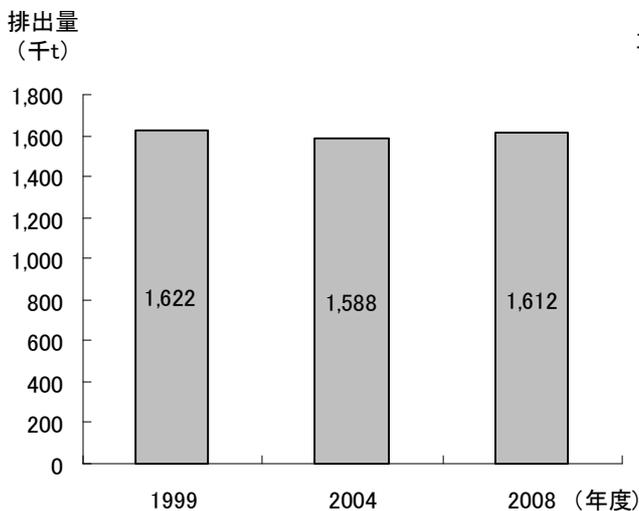
出典：第2期しまね循環型社会推進計画

### (2) 産業廃棄物

産業廃棄物の排出量は2008年現在1,612千tとなっています。前回の調査年2004年と比較すると24千t増加しています。

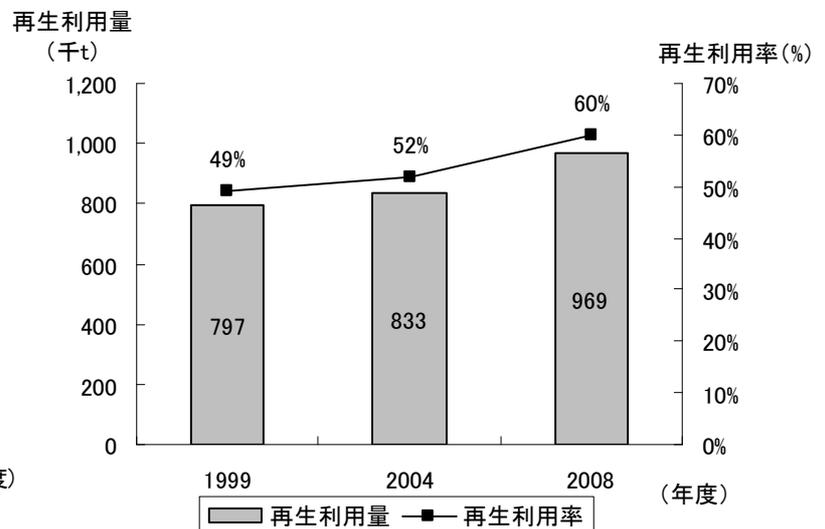
また、産業廃棄物の再生利用量についても、増加しています。

■産業廃棄物総排出量の排出量の推移



出典：第2期しまね循環型社会推進計画

■産業廃棄物再生利用量・再生利用率の推移



出典：第2期しまね循環型社会推進計画